



まちのわだい

本 やまゆり保育所 社会見学
物の消防車だあ

7月31日、やまゆり保育所の年長児による「社会見学」が、西消防署と千代田駐在所で新型コロナウイルス感染症対策を講じて行われました。子どもたちは、見上げるぐらい大きな消防車や、初めて見る救急車内のたくさんの機械に目を輝かせていました。市民の危機に駆け付けてくれる消防士や警察官は、子どもたちにとって憧れの存在。社会見学がきっかけで、消防士や警察官を目指す子どもたちが、この中にあるかもしれません。

い 近くで見ると見上げるぐらい大きい消防車に目が輝く年長児
は に 初めて見る救急車内をドキドキしながら見学する年長児



↓子どもでも簡単に作ることができる苔玉づくり



簡 親子参加型 苔玉講座
簡単に作れる癒しのインテリア

8月2日、雪入ふれあいの里公園で親子参加型の「苔玉講座」が開講されました。苔玉は、観葉植物の根を土で球状に包み、その周りに苔植物を覆い、糸で固定したものです。簡単に作ることができ、観葉植物の癒し効果も期待できるため、癒しのインテリアとして人気があります。当日は、4組の親子が参加し、早い人では、苔玉を30分で完成させていました。参加者は簡単に作れる手軽さに驚いた表情を浮かべていました。

↓親子一緒に楽しいひととき。「次はどの魚をつろうかな？」



家 大塚児童館 親子ふれあい「お魚すくい」
とは違った楽しいひととき

7月、大塚児童館で親子ふれあい「お魚すくい」が行われました。来館した親子に楽しんでもらうために実施。色とりどりのおもちゃの魚に、子どもたちは興味深々。元気いっぱい「お魚すくい」を楽しんで、あっという間にプールの中は空っぽに。お土産にももらったお気に入りの1匹に、子どもたちからは笑顔があふれました。参加した保護者は、「家でも簡単に作れて遊べそう」や「ちょっとした工夫で簡単におもちゃに変身できますね」などと話してくれました。

外 日本語ボランティア養成講座
外国人市民と共に暮らすために

7月12日、働く女性の家で第2回「日本語ボランティア養成講座」が開講(全10回)されました。この講座は、外国人市民に「やさしい日本語」を教える日本語教室の指導者育成を図っており、外国人市民と日本人市民がお互いを理解し、連携して仲良く暮らしていく、多文化共生のまちづくりに向けた一つの取り組みとして行われています。受講者は、「新型コロナウイルス感染症の影響により、困っている外国人のために役に立ちたい」と話してくれました。



↑どのようにすれば日本語を教えることができるのかを学ぶ参加者

長 自衛隊家族会の表彰
年の功績が表彰へつながる

5月29日、かすみがうら市自衛隊家族会会員の小林濃男さん(大峰)が、公益社団法人自衛隊家族会から「会長表彰」を受賞されました。小林さんは22年にわたり、市の自衛官募集相談員として活動し、防衛に関する考え方の普及活動や、自衛隊隊員が安心して任務を遂行できる環境の整備などに尽力された貢献が認められ受賞となりました。今回は、全国で82の方が表彰され、茨城県では小林さんのみの受賞となりました。



↑家族と受賞の喜びを分かち合い、自宅で記念撮影



新 歩崎棧橋オープン式
新たな観光客を誘致へ

7月22日、歩崎公園前の霞ヶ浦で「歩崎棧橋オープニングセレモニー」を開催しました。歩崎棧橋のオープンを記念してテープカットを行い、企業版ふるさと納税として寄付をいただいたダイプラ(株)へ感謝の意を表し記念品を贈呈。式典の後には、ホワイトアイリス号に関係者などが乗船し霞ヶ浦を遊覧しました。

歩崎棧橋は、長さ50メートル、幅3メートルあり、湖上レジャーの拠点として、係留施設やカヌー体験などの水辺のアクティビティ利用、霞ヶ浦遊覧、観光帆引き船を見学する随伴船の発着などに活用されます。



い 完成した歩崎棧橋の全体写真
ろ 歩崎棧橋オープニングセレモニーを開催
は ダイプラ(株)に記念品を贈呈
に ホワイトアイリス号に関係者やサイクリストが乗船